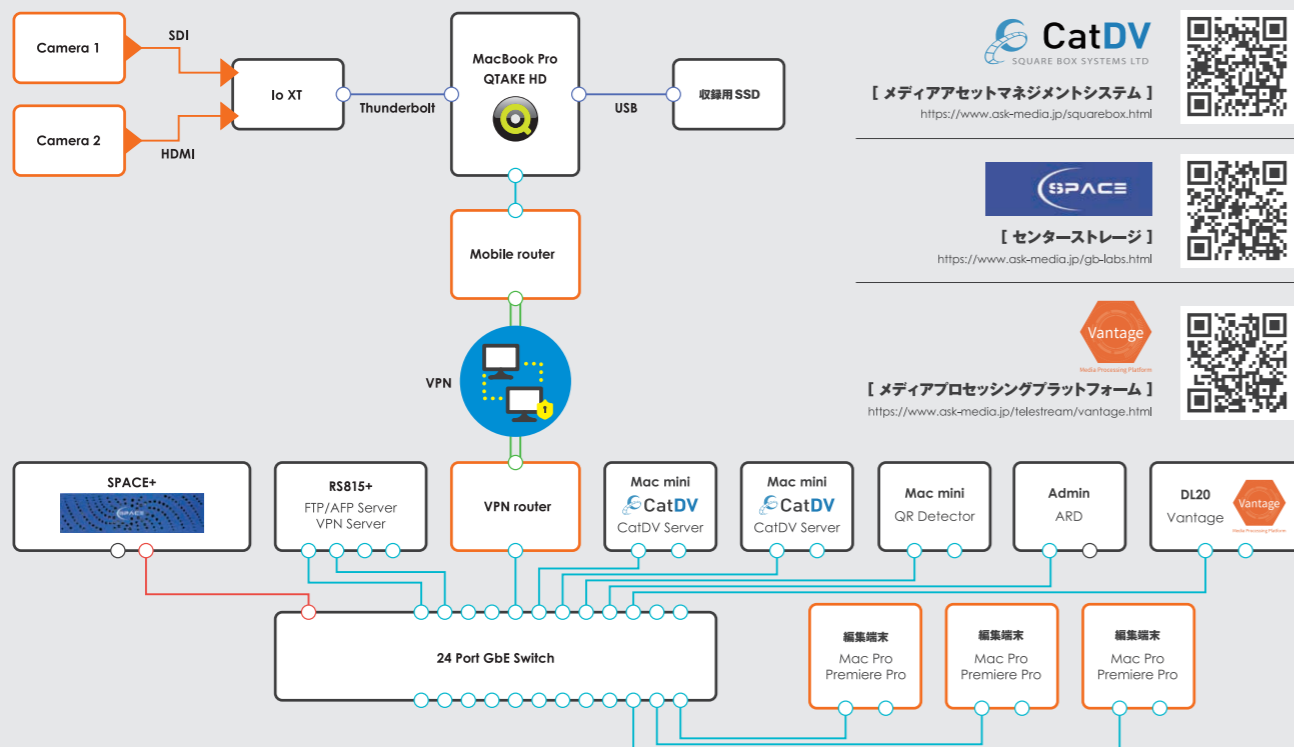


Video Suite / Technical Notes 【システム図面】



【ビデオアシストソフトウェア】
<https://www.ask-media.jp/qtake.html>



【メディアアセットマネジメントシステム】
<https://www.ask-media.jp/squarebox.html>



【センターストレージ】
<https://www.ask-media.jp/gb-labs.html>



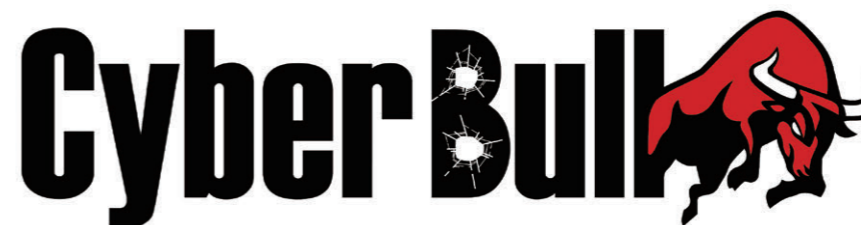
【メディアプロセッシングプラットフォーム】
<https://www.ask-media.jp/telestream/vantage.html>



Reinphase Solution Files #1 CyberBull / Video Suite

ソリューション事例紹介

撮影～編集、納品まで最短1日で実現！
動画広告コンテンツ月間約1,000本制作！
運用型Web動画時代のオートメーションツール



Video Suite

Video Suiteとファイルオートメーション

システム全体のデザインを担当しました。VideoSuiteは、専用開発を最小限に留め、既存製品を効率よくインテグレートすることによって、より自由度の高いシステムを目指しました。全体的な流れとしては、収録現場でQTAKEが生成したプロキシデータを収録直後にネット経由で本社に送信し、本社側のQRディテクターで処理、書き出されたメタデータを含むXMLをCatDV Workerが素材データベースに登録すると同時に、SPACEにデータをコピーします。こうした一連のファイルの移動は、間に人の手が介在しなくても自動で実行されるようにシステムをデザインしました。実際にVideoSuiteでは、

カメラの録画ボタンを押してからデータベースにファイルが登録されるまでの全ての工程が自動で行われるようになっていきます。人が処理をしなければいけない部分も、最小の操作で済むように心がけました。

株式会社リーンフェイス
システム設計プログラム・SI担当
片田 順
Jun Katatae

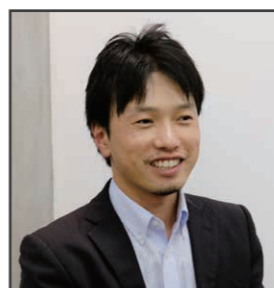


QRクリエイター／QRディテクターについて

撮影から編集までを効率化するベースとなる、QRコード作成システム「QRクリエイター」「QRディテクター」を開発しました。撮影時にスマートフォンやタブレットでQRコードを表示、それをスレート(カチンコ)代わりに各カットの前後に入れて、撮影情報のメタデータを画像として記録します。「QRクリエイター」は撮影時に撮影用メタデータを簡単に入力し、即時QRコードを生成するプログラムで、カット毎の最後にそのテイクのOK/NGを表示し、編集時の判断に使用します。「QRディテクター」は、編集室に送られたプロキシの映像のQRコードから、自動的にメタデータを解析・抽出してXMLのファイルを生成するもので、

カット番号、OK/NGなどを、編集時の各データの識別情報として活用できるようにしています。またQRコードを読み取る際、表示の向きが違っても検出エラーを起こさないように補正処理も行いました。

株式会社システム計画研究所 / ISP
事業本部 第2セグメント
マネージャ
井上 忠治 氏
Tadaharu Inoue



関連製品の内容、システム設計・構築のお問い合わせは…



株式会社リーンフェイス
<https://reinphase.com>



株式会社システム計画研究所 / ISP
<http://www.isp.co.jp>



Video Suite のメリット

- 撮影現場と編集室をシームレスに連携
- QRコードで撮影情報を一括管理
- 膨大な映像素材を一元管理
- 制作フロー全体の効率化・自動化

技術ポイント

- QRクリエイター／ディテクターによるメタデータ解析
- QTAKEによる、ProRes422HQ/H.264Proxy同時収録
- ProxyファイルをVPN + FTP転送
- SPACE NAS 共有ストレージシステム
- CatDVによる自動化と素材管理
- Vantageを利用したトランスコードシステム



Video Suite サンプル映像はこちら

https://www.youtube.com/watch?time_continue=49&v=Gilc5i3frYY

サイバーブル社が Video Suite で描く、インターネット動画広告の新マーケットルール。

現在、最も市場に求められている動画制作ビジネスであるインターネット動画広告。インターネットにおける広告の即時性、訴求効果を可能な限り得るためのリアルタイムな変更、修正への対応は、従来の映像制作プロセスでは対応できず、クライアントを十分に満足させることができませんでした。CyberBull社が独自開発・運営する“Video Suite(ビデオスイート)”は、従来の映像制作クオリティは残したまま、コンテンツの生産効率アップと広告効果のリアルタイムな検証、そして変更などを伴う柔軟な対応を最大化するためのシステムです。動画のメディアプランニングから、撮影・制作、そしてWeb動画広告の効果検証など広告運用までの一貫したサービスを、最短即日というスピーディーな制作体制、かつ低コストで提供できる体制を実現されています。

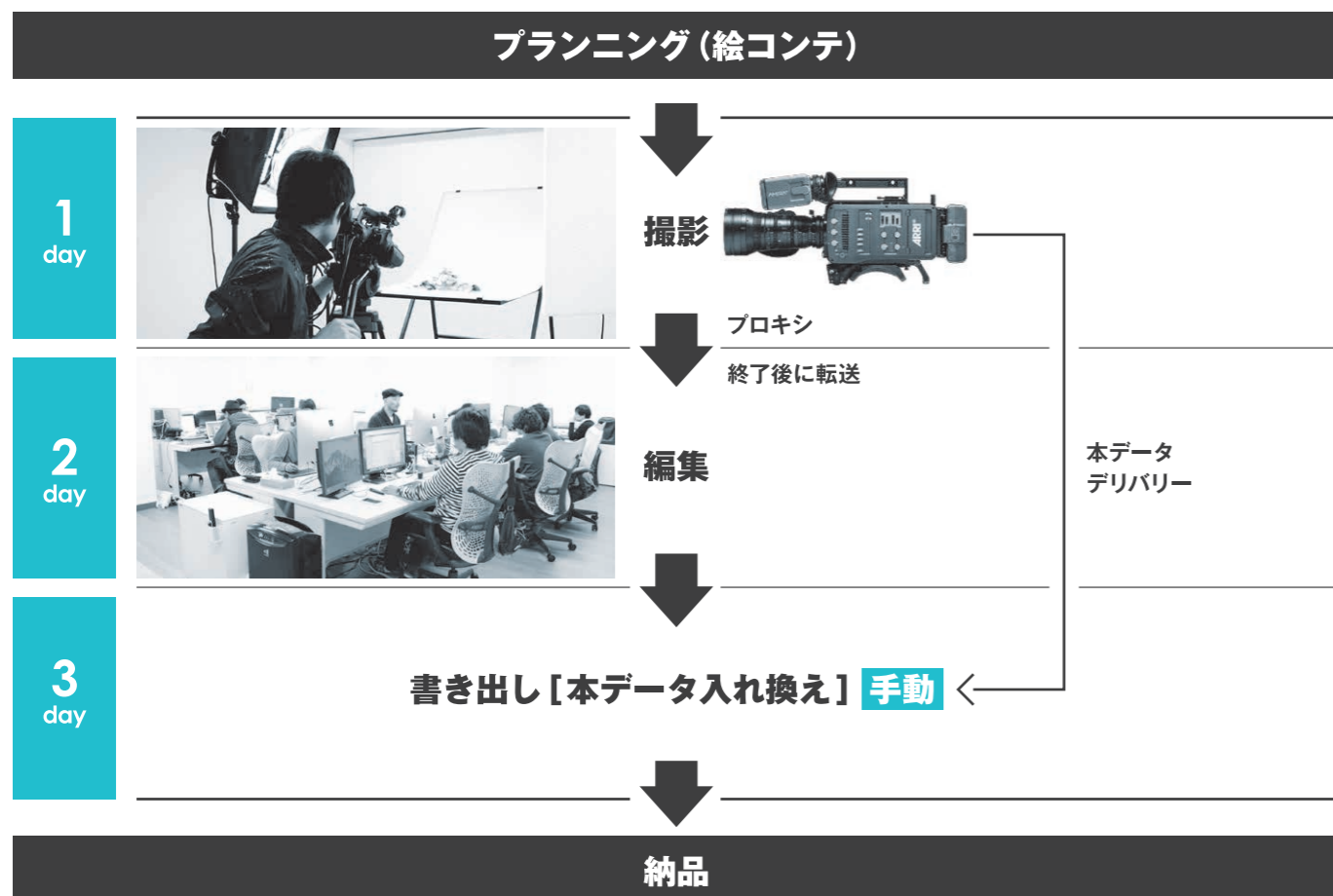
CyberBull
https://www.cyber-bull.co.jp



Video Suite
https://www.cyber-bull.co.jp/service/video_suite.php

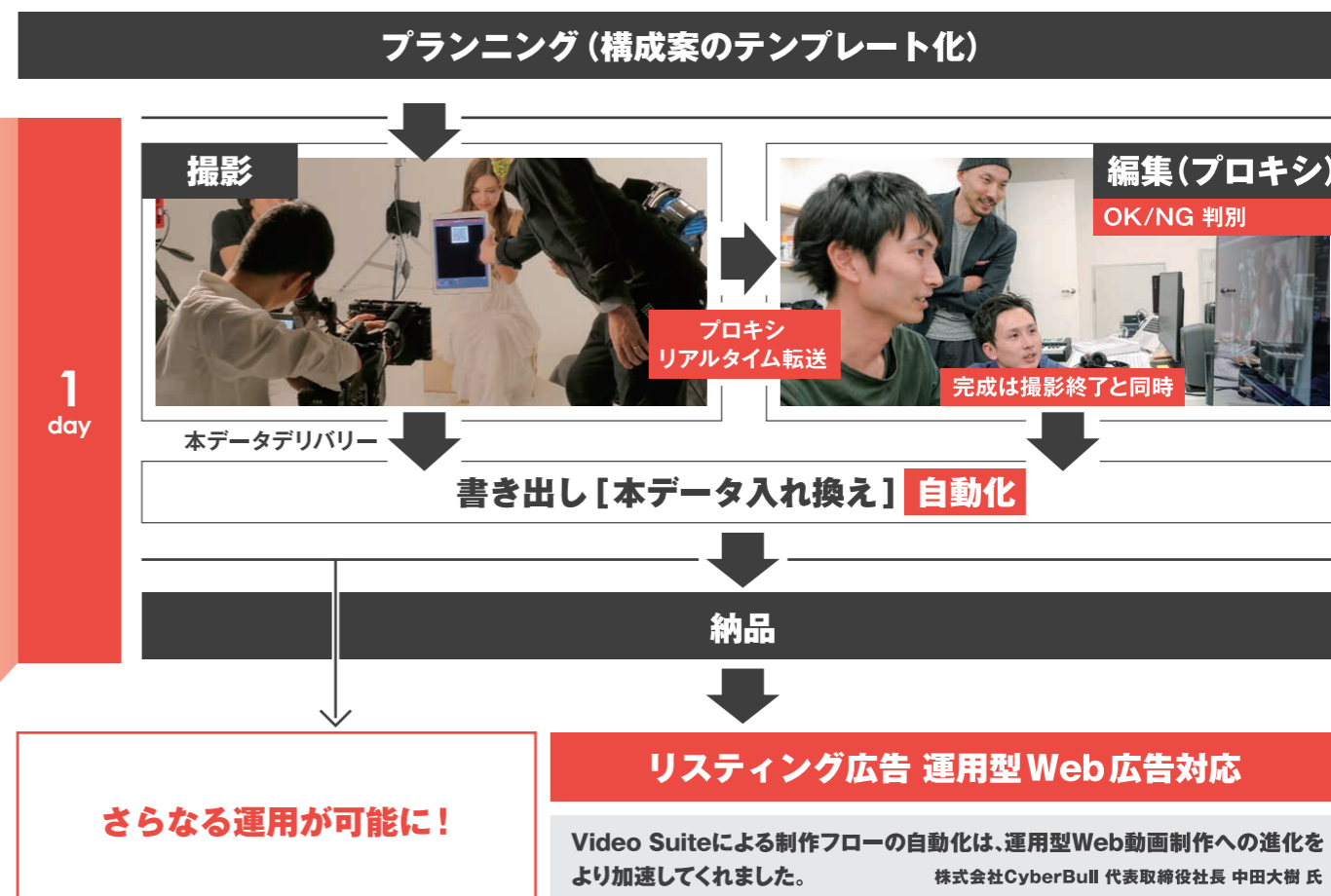


Before [一般的な映像制作フロー]



After [Video Suite の制作フロー]

Video Suiteの設計・ISは、株式会社リーンフェイズが担当しました。



撮影以降のプロセスを自動化して生産効率アップ

撮影～制作、運用まで、Web動画広告の世界では、従来の映像制作の体制のままでは、ワークフローとしては手間も時間もかかるものでした。Video Suiteは映像制作のワークフローを、Web動画広告向けに最適化するために開発したツールです。現段階では、撮影以降のプロセスをできるだけ自動化し、編集に至るプロセスをいかに効率化できるか?を実現したシステムになっています。特にQRコードをスレート代わりに映像に写し込み、そこから撮影情報のメタデータを読み出すアイデアは、制作フローのスピードアップに大きな効果を生み出しています。撮影の数秒後にはプロキシデータが転送され、その日のうちに仮編集までできてしまいます。さらに公開後の頻繁な市場の反応にも、動画内のカット変更・修正など、リアルタイムで

フレキシブルな運用への効率性も高めてくれます。特に撮影データをQRコード化するための、現場での入力画面の設計については最後までこだわりました。この精度により、撮影現場の効率も大きく違ってきます。一番重要なのはそのテイクがOK/NGかどうかの識別です。現場ではカメラマンがカメラを設定すると同時にQRコードも生成、撮影しながらタブレット等でQRコードをかざすところまでをワンマンオペレーションで行っています。

ブランド事業部 クリエイティブディレクター

小野寺 学 氏

Manabu Onodera



撮影現場情報を編集室でもリアルタイムに把握

私自身も従来通りの映像制作ワークフローに慣れていたので、Web動画広告に必要な即時性やレスポンスにあわせるのは難しいと感じていました。Video Suiteを導入後、制作フローでは特に撮影している間から、すでに編集作業が行えることは画期的でしょう。映像編集作業はAdobe Premiere Proで行っており、ネット経由で送られて来た撮影素材のプロキシデータですぐに編集を始めることができます。撮影終了後、本素材が上がってきた段階で編集が終わってれば、あとは720pのプロキシデータを1080pの本データに差し替えるだけなので、とても楽です。またCGやテロップ等が入る場合でも予めプロキシの状態で作業が進められるのは便利です。さらにWeb動画広告の場合、最初の動画をサイトにアップしてから

市場のレスポンスによって、カットの差し替え作業などが頻繁に発生します。そのため通常の映像作品より多い撮影素材を撮っておく必要があります。その素材管理と変更作業もVideo Suiteではとても効率的かつスピーディーに行うことができます。

クリエイティブ局 シニアエディター

中村 将 氏

Masashi Nakamura

